

～支援紹介～

こんにちは！ゆいCブロックの伊藤です。

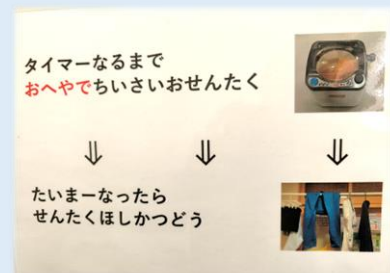
今回はHさんの洗濯物干し活動の支援をご紹介します！

Hさんは冬期間、加湿の意味も兼ねて起床時と入浴時の着替えで出た洗濯物をご自身で居室に干していただく活動を行っています。

練習を重ねご自身できちんと洗濯物を干す事はできるようになりましたが、洗濯がいつ終わるのが気がなくなってしまい、待ちきれずに居室から出てきて職員へ活動の催促を繰り返す様子が見られていました。

まずは、見通しを持っていただくために洗濯物をお渡しする時間を「タイマーが鳴ったら」という形でお伝えするようにしました。すると、待てることも増えてはきましたがまだ待ちきれずに出てきてしまうこともしばしばでした。

そこで、洗濯物をお渡しする時間をタイマーでお伝えするとともに、電池で動くおもちゃのミニ洗濯機をお渡ししてタイマーが鳴るまで回していただくことで視覚的に「今はまだ洗濯中」であることがわかるようにしたところ、回っているミニ洗濯機を眺めながらタイマーが鳴るまでしっかりと待つことができるようになりました！



今後ご利用の方が安心して活動できるような支援を目指していきます。

最後までご覧いただきありがとうございました！